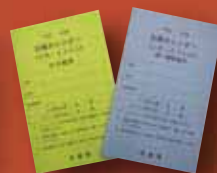


報告していただいたデータが活かされています！

平成 21 年度

出猟カレンダー 結果報告



兵庫県

●●● 兵庫県に登録の狩猟者の皆様へ ●●●

毎年「出猟カレンダー」などの調査にご協力いただき、ありがとうございます。集計した情報は、県の狩猟制度の調整や被害対策のための基礎資料として活用しております。昨年度の集計結果や森林動物研究センターの研究成果の一部を紹介いたします。皆様の猟の参考になれば幸いです。

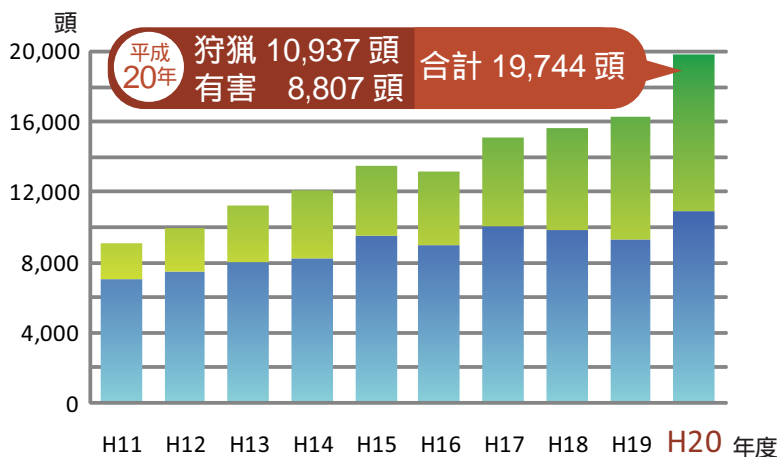


捕獲頭数の移りかわり

昨年度のシカとイノシシは豊猟でした。登録者の出猟回数も増えているようです。1人1回出猟あたりの目撃数や捕獲頭数には、大きな変化はありませんでした。



捕獲頭数は過去最高



H20年度のシカの捕獲数は、これまで最高の頭数になりました。

特に、有害捕獲の頭数が大幅に増加しています。

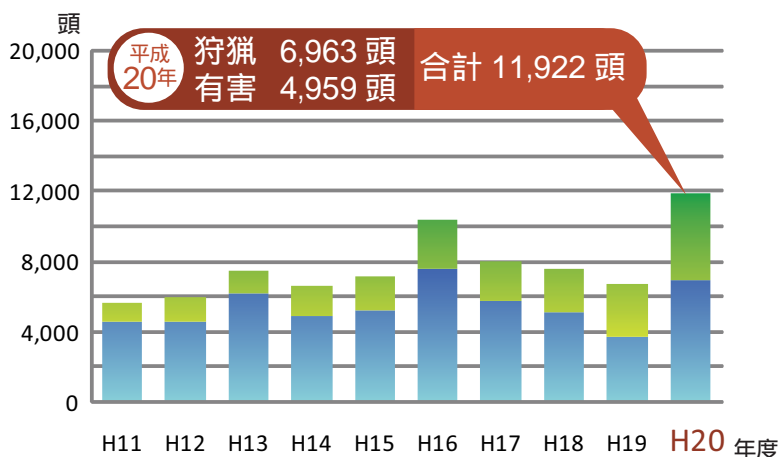


シカの捕獲頭数の推移

銃猟の捕獲効率：1人1回出猟あたり 0.26 頭



減少傾向にあった捕獲頭数も過去最高に



イノシシの捕獲数はここ数年減少傾向にありましたが、H20年度は、狩猟、有害捕獲ともに大幅に増加しています。



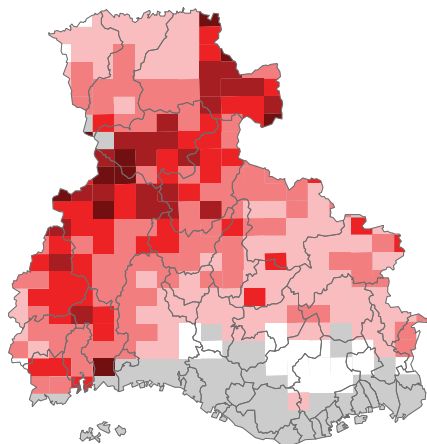
イノシシの捕獲頭数の推移

銃猟の捕獲効率：1人1回出猟あたり 0.09 頭

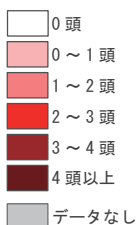
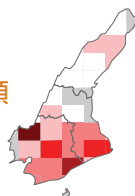
目撃頭数から見る シカ・イノシシの生息状況

シカもイノシシも、全体では2年連続で減少傾向になりました。しかし、シカは増加している地域もあり、県が目標とする水準までは減少していません。

狩猟の報告は約5kmのメッシュに区切って集計しています。

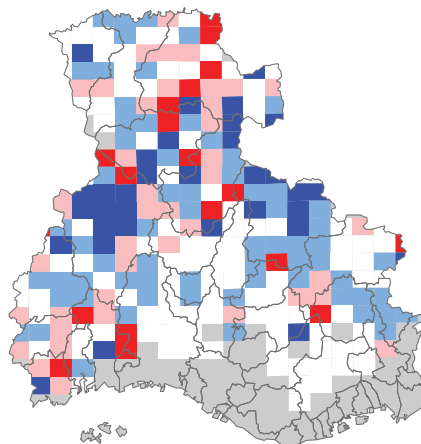


全県の平均目撃効率は
1人1回出猟あたり1.75頭



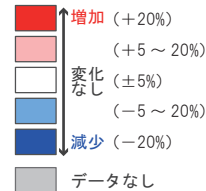
H20年

1人1回あたりの目撃頭数(目撃効率)



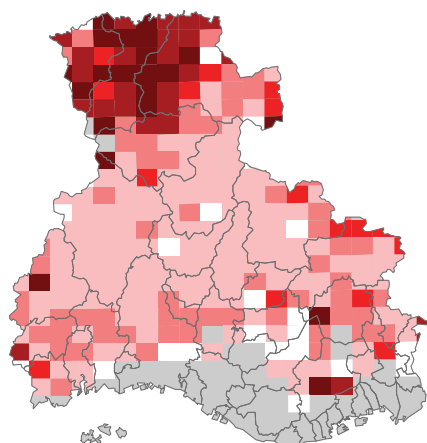
H16～20年

最近5年間の変化

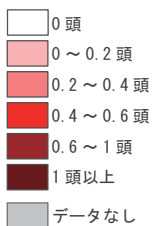
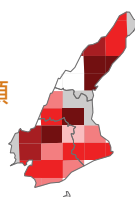


目標

これまでの調査の結果から、特定鳥獣保護管理計画では、シカの目撃効率をどのメッシュでも1.0頭以下にすることを目標にしました。

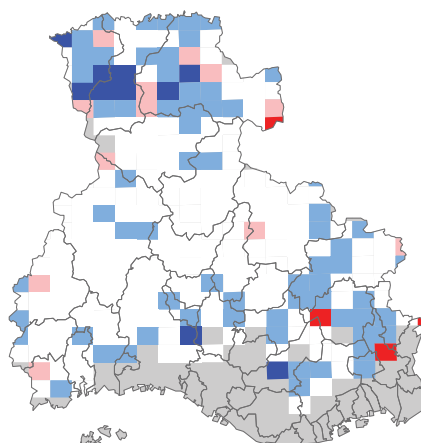


全県の平均目撃効率は
1人1回出猟あたり0.22頭



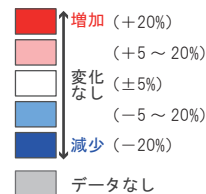
H20年

1人1回あたりの目撃頭数(目撃効率)



H16～20年

最近5年間の変化

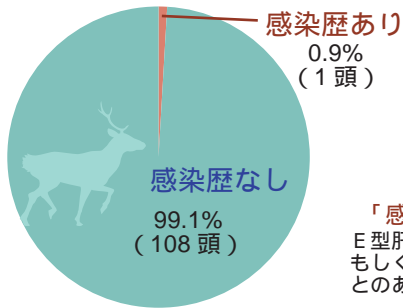


E型肝炎 調査結果 —E型肝炎は、肉を加熱調理すれば問題ありません—

ブタやイノシシに比べて、シカのE型肝炎はごくまれでしたが、注意は必要です。

シカ 109頭を検査 (H19～H21年捕獲個体)

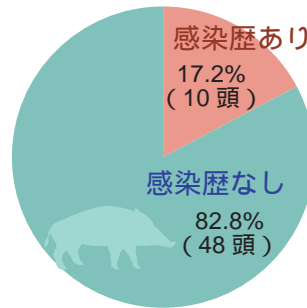
E型肝炎にかかったシカは、前回の調査の3.1%より少ない、0.9%でした。



「感染歴あり」とはE型肝炎ウイルスに、現在もしくは過去にかかったことのある個体

イノシシ 58頭を検査 (H19～H21年捕獲個体)

イノシシはブタよりも感染率は低いです、シカに比べると高いと言えます。



ブタの感染歴

感染歴あり 85.0%

(Takahashi, 2003)

ブタは高い確率で感染が認められています。

シカ・イノシシの感染率はブタと比べて低いです、予防を心がけましょう。

サンプリング調査にご協力いただいた狩猟者の皆様に、御礼申し上げます。

予防

きっちり手洗い



ナイフやまな板の洗淨・乾燥



肉はしっかり加熱調理

日本脳炎について —従来通りの対応で問題ありません—

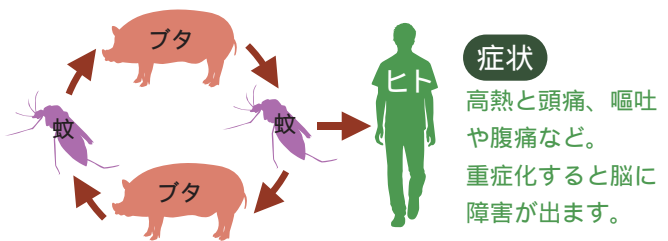
平成21年7月11日付神戸新聞に「イノシシが日本脳炎ウイルスの新たな感染源の懸念がある」との記事が掲載されましたが、日本脳炎ウイルスは、従来からブタや鳥などが普通に保有しているものです。イノシシだけを特別に扱う必要はなく、これまで通りの日本脳炎への注意で問題ありません。

動物への感染の実態

ブタは80～100%と高い確率で感染が認められることがあります。(国立感染症研究所が定期的に検査・公表しています。)

豚肉やイノシシ肉を食べて感染したという報告はありません。

日本脳炎はブタや鳥などから蚊が媒介して、人に感染します。

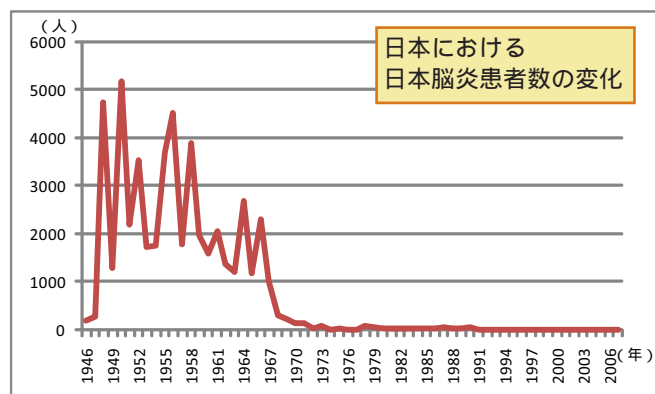


症状

高熱と頭痛、嘔吐や腹痛など。重症化すると脳に障害が出ます。

日本脳炎患者は激減しています。

従来から多くの動物が日本脳炎ウイルスを持っていますが、日本での患者は激減しています。



蚊やダニは、日本脳炎だけでなく、他の病原菌も媒介しますので、注意しましょう。

予防

長袖・長ズボンを着用しましょう



虫除けスプレーで防ぎましょう



県の捕獲関連事業

兵庫県では、ご協力いただいた調査結果をもとに、次のような施策に取り組んでいます。

狩猟期間の延長・捕獲頭数制限の緩和など

平成 21 年度から



シカの狩猟期間は、11月15日から

本州部：3月15日まで、淡路島：2月末日まで

シカの捕獲頭数制限は、

本州部：撤廃、淡路島：1人1日当たり2頭に緩和

注 他の狩猟鳥獣の狩猟期間は
11月15日から2月15日まで
ですのでご注意ください。

シカ個体群管理事業の拡充

平成 21 年度は、2万頭の捕獲を目標に、狩猟期間を延長するとともに、市町による捕獲活動への支援を大幅に拡充しています。

外来生物被害対策事業の拡充

平成 21 年度は、アライグマとヌートリアの捕獲目標を 4,000 頭に拡大し、市町による捕獲事業への支援を強化しています。

出猟カレンダー ご記入のお願い

野生動物の適切な保全と管理のためには、皆様のご協力が必要です。
出猟の都度のご記入をよろしく申し上げます。

1 出猟カレンダー（シカ・イノシシ） わな猟用

わな猟用 記入例

わなごとにページをかえてください。

メッシュごとにページをかえてください。「兵庫県鳥獣保護区等位置図」のメッシュ番号のご記入ください。

わなの種類とメッシュごとにページをかえてご記入ください。

わなの設置や解除（撤収）や、シカ・イノシシの捕獲をしたら、その都度ご記入ください。

わな種類	箱わな・囲わな・くくりわな その他()	メッシュ番号	1	0	4
市町・地区名		〇〇市△△町××			

日付	新設わな数	解除したわな数	稼働中わな数	捕獲数				備考
				シカ		イノシシ		
				オス	メス	オス	メス	
11月15日	15	0	15	0	0	0	0	全て数字でご記入ください。
11月16日			14	0	1	0	0	
			12	1	0	その日に捕獲した数をご記入ください。		
12月8日	13	0	25	0	0			
12月9日	0	0	25	0	0	設置や解除の結果稼働中のわな数をご記入ください。		

2 出猟カレンダー（シカ・イノシシ） 銃猟用

シカ及びイノシシの銃猟に出られたときは、目撃や捕獲の有無にかかわらず、出猟日とメッシュ番号をご記入ください。

